令和4年度 東京都立若葉総合高等学校 学校経営報告

自己評価基準：【A】十分に達成できた 【B】概ね達成できた 【C】あまり達成できなかった

令和4年度 東京都立若葉総合高等学校 学校経営報告	
今年度の教育活動への取組と重点目標	自己評価
<p>[学校経営]</p> <p>①新学習指導要領に基づく新カリキュラムへの円滑な移行に向けて、カリキュラム・マネジメントの体制を構築するとともに、適切な教育課程を編成する。</p> <p>②分掌・教科のマネジメントサイクル（PDCA）を活用し、課題解決に向けた効果的な学校運営を行う。</p> <p>③企画調整会議の決定事項の円滑な周知と、拡大部会の実施による部と年次の連携を推進する。</p> <p>④校内研修やOJTにより、教職員の総合学科・キャリア教育に関する理解を深める。</p> <p>⑤予算編成、募集・広報活動等を通して、経営企画室の経営参画を一層推進する。</p> <p>⑥授業への地域人材の活用や公開講座の実施等により、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑦会議の運営の工夫、ファイルサーバを活用した文書や教材等の共有化、計画的な仕事の進め方等により、業務の効率化を徹底し、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。</p> <p>⑧学校閉庁日を設定している主旨を踏まえ、必要な業務や指導を計画的に遂行する。また平日の1日当たりの在校時間を11時間以内、週休日である土曜日、日曜日の連続</p>	<p>【円滑な学校運営の推進】【A】</p> <p>①令和4年度入学生からの新カリキュラムへの円滑な移行を進めることができた。また、観点別評価も試行錯誤しながら適切に実施するとともに、新しい成績処理システムの導入も、円滑に実施できた。</p> <p>②学期毎にPDCAを活用して、課題を把握し、企画調整会議で共有して解決策を検討・実施した。 ※保護者の学校満足度：96%</p> <p>③拡大進路部会・生活指導部会の実施により、全校体制の進路指導、生活指導を実施することができた。</p> <p>④産業・社会と人間やマイプロジェクトの授業担当者会議を毎週設定し、OJTにより教員のキャリア教育のスキルアップを図った。</p> <p>⑤経営企画室の参画により備品の不具合、施設の修繕等実態に合わせた予算編成及び執行を行った。</p> <p>⑥2つの公開講座及びテニスコート等の地域開放を実施し、好評を得た。保育園における実習は、制限のある中実施することができた。稲城市の防災訓練に、100名を超える生徒が参加した。</p> <p>⑦電子掲示板の活用により、情報の共有化、資料のペーパーレス化、対面会議の開催の縮小等、業務の効率化と教職員の働き方改革への意識付けを促進した。</p> <p>⑨閉庁日には、全員が年休等を取得することができた。繁忙期において、業務の中心的役割の勤務時間の増加が課題である。週休日の連続勤務は解消しつつある。</p>

<p>勤務について、改善を図る。</p>	
<p>[学習指導]</p> <p>①教科主任を中心とした教科会を活性化し、組織的な授業力の向上を推進する。グランドデザインに基づき、すべての生徒に身に付けさせるミニマムな学力を明確にし、確実な定着を図る。</p> <p>②総合学科の特色を生かした多様な選択授業科目を設置し、カリキュラム・マネジメントの視点により、意図的かつ計画的な学習指導の充実を図る。</p> <p>③本校の学力スタンダードに基づく、教科指導の検証・充実、教員相互の授業研究、生徒による授業評価を活かした授業改善、学年共通したアクティブ・ラーニングの実践、言語活動・探究活動の充実、様々な発表の場の設定など、学力向上の視点と授業力に裏付けされた質の高い授業展開を図る。</p> <p>④きめ細かな学習ガイダンスを行い、生徒の学習意欲の喚起、学習習慣の確立、基礎学力の向上を図る。</p> <p>⑤教科横断型授業を推進することにより、生徒が学習内容をより深く理解することを推進し、生徒の学習への興味を喚起することを促す。</p> <p>⑥成績改善対策の補習を全講座で教科担当と担任が連携して組織的に実施し、家庭と連携して年度末まで成績不良者への支援を根気強く実施する。</p> <p>⑦ICT機器やスマートスクール端末を活用し、個別最適な学びを推進するとともに、組織的、効果的に活用するための環境整備を行う。</p>	<p>【学力向上の取組の推進】【B】</p> <p>①教員相互の授業参観、教科の打合せ等により、教科全体で単元の到達目標についての共通認識を持ち指導を行った。</p> <p>※生徒の授業満足度 必修科目：88%、選択科目：96%</p> <p>②多様な選択科目を設置し実施するにあたって、きめ細かい面談やガイダンスにより、意図的・計画的な学習指導に結びつけた。</p> <p>③基礎的・汎用的能力と知識・技能を育成し、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を実現するため、各教科、各個人について「授業評価」を通して指導内容を評価し、授業改善を行った。感染症対策をしながらできる範囲で、アクティブ・ラーニングを取り入れた教員もいる。生徒のマイプロジェクトにおける研究テーマと進路決定状況を分析し、課題の抽出を行った。また校内研修を通して、データ分析の方法等の理解を深めた。</p> <p>④年度当初の授業で、学習の方法、評価基準等のガイダンスを行い、学習への不安を解消した。</p> <p>⑤教科横断型授業の推進を図ったが、具体的な授業の取組にまで発展させることはできなかった。教科内における工夫を行った事例があった。</p> <p>⑥学期ごとに、成績不良者へ補習、補講を行い、学習活動への取組を向上させたことにより、多くの改善が見られた。</p> <p>⑦スマートスクール端末の有効活用に関しては、全校を挙げて取り組み、その活用を進めることができた。また環境整備の一環として、ラーニングコモンズの設置を構想したが、不十分に終わった。</p>

<p>⑧国際交流事業の推進や語学力向上の取組等を通して、グローバル人材の育成を図る。</p> <p>⑨新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に向けて、必要に応じてオンライン授業を実施するなどして学びの補償を行う。</p>	<p>⑧英語クラブの生徒たちが、ポーランド共和国の Czech Republic School の生徒たちと、ビデオチャットを通して3回交流を実施した。英語検定の受検の促進及び指導を強化した結果、準2級以上の合格者は23名であった。</p> <p>⑨新型コロナウイルス感染症により、オンライン授業等の影響はなかった。</p>
<p>[生活指導]</p> <p>①生活指導規定に基づき、挨拶の励行、身だしなみ規定の遵守、授業規律を全教職員が徹底する。また、教室環境の整備と安全点検を適切に行い、学習環境の維持・向上に努める。</p> <p>②交通事故防止、犯罪被害防止、問題行動未然防止の指導を計画的に行い、生徒の安全と健全な態度を育む。</p> <p>③セーフティ教室、SNS活用講習会、薬物乱用防止教室等を通して、生徒の健全育成を図るとともに、学校事故防止に努める</p> <p>④ホームルーム活動や各種行事を通して、人間関係能力、判断力、コミュニケーション能力の向上を図り、振り返らせて成長を実感させる。</p> <p>⑤体罰の根絶及びいじめの防止、早期発見・対応のため、教職員の意識向上を図り組織的に対応する。</p>	<p>【規範意識の醸成】【A】</p> <p>①校長、養護教諭、生活指導部等が朝の健康チェックを兼ねて立ち番を毎朝実施。挨拶の励行と身だしなみの大幅な改善が図られた。 ※生徒のルール順守意識：91%</p> <p>②ホームルーム指導や各種講習会等を通して、安全と健全な態度の醸成を図った。保健委員の生徒が、感染症予防について、全校生徒へ働きかけ、全校生徒の意識醸成を図った。</p> <p>②セーフティ教室等を活用し、生徒たちの意識高揚を図った。特にSNS利用モラル向上については、引き続き指導を行っていく必要がある。</p> <p>④年3回のアンケート調査により課題を把握し、その都度、学校いじめ対策委員会を招集し、いじめの未然防止、早期対応に取り組んだ。教職員間の情報共有が進み、全校体制での取組みが定着した。</p> <p>⑤校内研修等の実施や相談委員会の活性化、及び全職員参加の拡大相談委員会を通して、教職員の意識向上を図り、体罰及びいじめ事案は発生しなかった。</p>
<p>[進路指導・キャリア教育]</p> <p>①4年制大学への推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト対応の進学対策を進め、補習・講習、講演会、面接指導、論文指導等について、各分掌が連携して組織的、計画的な指導の充実を図る。</p>	<p>【進路実現への支援】【A】</p> <p>①A0・推薦受験者への論文・面接指導、就職対策指導など全教職員で計画的・組織的に指導を行った。 ※進路指導満足度：88% ※進路決定率95.5%</p>

<p>②生徒の個性と可能性を重視し、全教員による丁寧な個別指導を行い、生徒の進路実現を支援する相談体制を充実させる。</p> <p>③生徒の進路実現を確実なものとするため、「産業社会と人間」から「マイプロジェクト」に至る計画的・系統的なキャリア教育を推進し、生徒の自己理解を深めるとともに、社会で必要な言語能力と発信力の向上を図る。</p> <p>④進路希望状況を早期に把握し、未決定者に対する指導を充実させる。また進路指導室からの情報発信力の向上、キャリア・カウンセラーとの面談等を通して、相談体制を充実させる。</p> <p>⑤質問紙調査を実施し、現在実施しているキャリア教育のプログラムを「基礎的・汎用的能力」の育成という観点から評価し、その改善を図る。</p> <p>⑥実用的な資格取得を担当する教科が、組織的展開し、生徒の資質・能力を向上させる。</p> <p>⑦キャリア・パスポートを作成、充実させ、自分自身を客観視できるデータとして進路指導・キャリア教育に活用する。</p>	<p>②全教員体制で面接や小論文、エントリーシート等の指導に取り組むことができ、生徒の自己実現に向けた相談体制が充実した</p> <p>③「産業社会と人間」から「マイプロジェクト」に至る系統的なキャリア教育を計画通りに行うことができた。生徒の実態に合わせた内容の改善を次年度実施に向けて行った。 ※「産業社会と人間」「マイプロジェクト」の有用性：83%の生徒が肯定。</p> <p>④キャリア・カウンセラーを指名し、各生徒単位の相談活動を中心に、進路情報の理解及び卒業後の進路選択の支援、科目選択に関する支援、担任等との情報共有の更なる向上に取り組んだ。</p> <p>⑤質問紙調査を年間2回実施し、「基礎的・汎用的能力」の育成の状況を把握することができた。</p> <p>⑥漢字検定、英語検定、パソコン検定等に挑戦させ、合格者が昨年度と同程度であった。</p> <p>⑦担当部署の調整が付かなかった。一部「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」等の進路学習の中で記載している。</p>
<p>[特別活動]</p> <p>①学校行事の意義付けの明確化と質的向上を図り、生徒に協調性や達成感を持たせるとともに、自尊意識を高める。</p> <p>②部活動の参加率、活動内容の向上に努め、生徒の自主・自律の精神及びスモールステップでやり抜く力を育成する。活動については、部活動ガイドラインを遵守し、バランスの取れた生活と、生徒の成長の視点から、休養日を週2回以上設定するととも</p>	<p>【生徒主体の活動の推進】【B】</p> <p>①感染症対策を実施する上で、全校実施を実現することができた。実行委員が主体的に企画・運営に関わり、様々な新しい取り組みを実施し、また全生徒の参画意識も高まり、達成感を得ることができた。 ※行事満足度：76%</p> <p>②部活動加入率は73.9%であり、昨年度に比べ微増した。さまざまな大会が実施できるようになり、生徒たちの主体的な取り組みを進めることができた。 ※部活動満足度：75%</p>

<p>に、諸活動を通じて望ましい人間生活の伸長を目指す。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、東京都教育委員会からの指示を遵守し、生徒・教職員の健康・安全を確実に確保した上で、学校行事、部活動等を実施する。</p>	<p>③東京都教育委員会からの指示を遵守し、生徒・教職員の健康・安全を確実に確保した上で、学校行事や部活動等を実施することができた。</p>
<p>[安全・健康指導]</p> <p>①セーフティ教室や避難訓練等を通じて、健全育成と実践的な防災意識の涵養を図るとともに、学校事故防止に努める。</p> <p>②カウンセリングマインドに基づく保健相談機能の充実を図る。また、始業式等の講話や外部講師による講演会を活用し、生徒に自他の生命を尊重する意識を高めさせる。</p> <p>③発達障害等特別な支援が必要な生徒に対する組織的・計画的な対応を推進する。</p> <p>④生徒の発達段階に応じて体力と運動能力を向上させるため、体育授業時の基礎体力づくりを継続して実施し、運動の重要性の理解と心身共に健康な人間の育成を目指す。</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、生徒及び教職員の検温等の健康観察を徹底し、感染拡大防止に向けた機運を醸成する。また学校内外を問わず、マスク着用及び昼食時の飛沫感染防止を徹底する。</p>	<p>【自他の生命を尊重する態度の育成】【A】</p> <p>①避難訓練（年4回）等を通じて、生徒の安全、防災に対する意識を高めた。</p> <p>②週1回の相談委員会で、配慮を要する生徒を早期に把握し、職員会議等にて迅速に情報を共有した。全教職員がカウンセリングマインドを持ち、相談活動を充実させた。 ※教育相談委員会：24回実施 ※教育相談満足度：71%</p> <p>③発達障害等特別な支援が必要な生徒に対して、教職員で情報共有し、合理的配慮を行った。また通級による指導を通年で実施し、効果をあげることができた。</p> <p>④体育の授業にて、準備体操に続き「体づくり運動」を導入し、生徒の発達段階の状況に応じた運動能力の向上に努め、また選択科目での授業にて運動の重要性の指導と、保健にて心身ともに健康な人間の育成を図ることができた。</p> <p>⑤本校として統一した防止策を履行し、感染拡大防止に向けた取り組みができた。今後も徹底した感染防止対策を推進して行く。</p>
<p>[募集・広報活動]</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、安全に学校説明会等を実施する。説明内容をYou Tubeで公開し、情報の発信方法を拡大する。</p>	<p>【広報活動の充実と入試倍率の向上】【A】</p> <p>①学校説明会等を計画通り実施することができ、参加者の目標を達成することができた。放課後に実施した個別相談も功を奏した。 ※学校説明会参加者：のべ2059名</p>

<p>②新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、安全に中学生向けの体験授業や部活動の体験入部等を積極的に実施し、中学生への認知度を向上させる。</p> <p>③稲城市の中学校及びPTAとの連携を図り、本校を会場とする都立高校合同説明会を実施するなど、広報・募集活動を計画的に実施する。</p> <p>④中学校への出前授業や塾訪問を積極的・計画的に実施し、中学生やその保護者に対して、本校の理解・総合学科高校の理解の深化を図る。</p> <p>⑤ホームページの更新を組織的に実施し、情報発信体制の充実を図る。</p> <p>⑥本校の紹介動画を組織的に作成し、YouTube等で公開し、中学生やその保護者に対して、本校の理解の深化を図る。</p>	<p>※学力検査応募倍率：1.37倍</p> <p>②出張説明会、出前授業の依頼も昨年度と比較すると増加し、総合学科高校や本校の取組状況等の理解を深化させることができた。また部活動の体験入部等も積極的に実施し、本校の認知度を向上させた。</p> <p>③稲城市中学PTAとの連携による都立高校合同説明会は今年度も中止となったので、次年度以降に継続できるようノウハウを受け継ぐ。</p> <p>④依頼のあった出前授業、上級学校訪問は積極的に受け入れ、本校の理解の深化を図った。</p> <p>⑤積極的にホームページを活用して、情報提供を行った。</p> <p>⑥中学生への情報提供の手段として、ホームページの充実は欠かせない。都民、生徒、保護者が求める学校紹介を充実させる。</p>
---	--